

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(分担) 研究報告書

民間クリニックにおける効果的な HIV 検査の実施と質の向上のための研究

研究分担者 井戸田 一朗 (しらかば診療所)

研究協力者

岩澤 晶彦	岩澤クリニック	大里 和久	大里クリニック
吉尾 弘	吉尾産婦人科医院	谷口 恭	太融寺町谷口医院
伊藤 晋	泌尿器科 あいクリニック	中村 幸生	中村クリニック
清滝 修二	セントラルクリニック伊勢崎	上村 茂仁	ウィメンズクリニックかみむら
新井 律夫	新井医院	角井 徹	すみいクリニック
熊谷 振作	熊谷クリニック	鷺山 和幸	さぎやま泌尿器クリニック
楠山 弘之	永弘クリニック	高橋 雅弘	医療法人社団薬院高橋皮ふ科クリニック
五島 文恵	林病院	須賀 雅彦	アルファクリニック渋谷
川嶋 敏文	川嶋泌尿器・皮膚科医院	福地 裕三	あおぞらクリニック新宿院
小林 米幸	医療法人社団小林国際クリニック	尾上 泰彦	プライベートケアクリニック東京 新宿院
吉川 琢磨	よしかわ耳鼻咽喉科	瀧 知弘	ひまわりクリニック丹西
清水 康弘	新宿山の手クリニック	水野 泰孝	グローバルヘルスケアクリニック
小田島 純	新吉原検診所	佐藤 昭裕	KARADA 内科クリニック
白川 裕一	八重洲山の手クリニック	塩尻 大輔	パーソナルヘルスクリニック
立山 啓悦	ひろクリニック	西大條 文一	金王坂クリニック
根岸 昌功	ねぎし内科診療所	蓮池 林太郎	新宿駅前クリニック
山口 真澄	池袋山手クリニック	吉田 直人	プライベートケアクリニック東京 東京院
山中 晃	新宿東口クリニック	杉本 賢治	京橋杉本クリニック
内田 千秋	あおぞらクリニック 新橋院	剣木 憲文	銀座ヒカリクリニック
松村 健太郎	渋谷山の手クリニック	北村 浩	石神井えんじゅ内科クリニック
中山 保世	東新宿こころのクリニック	笠井 大介	笠井医院
操 裕	操健康クリニック	佐野 貴子	神奈川県衛生研究所
多和田 俊保	たわだ泌尿器科	近藤 真規子	神奈川県衛生研究所
保科 眞二	保科医院	今井 光信	田園調布学園大学

研究要旨

研究班協力施設である民間クリニックにおける HIV 検査実施状況調査を、2014 年以来初めて実施した。2020 年に延べ 26,284 件の検査が行われ、70 件が確認検査により HIV 感染が証明され、陽性率は 0.27%であった。検査数は 2001 年本調査開始以降最多であり、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、保健所等での HIV 検査数の減少がみられているにも関わらず、民間クリニックにおける検査数は減少せず、検査へのニーズは保たれていた。研究班協力施設の民間クリニックは、感染リスクの高い集団に、正しくフォーカスした検査が提供できており、提供者主導の検査が実施されていること、特定の集団に向けたフットワークの軽い検査を計画し、実施できている点を含め、民間クリニックは、わが国における HIV 検査実施機関として重要なインフラを担っていると考えられた。

A.研究目的

HIV 検査相談機会を拡大する上で、民間クリニックを含めることは、保健所等の既存の検査インフラが実現できなかった場所や時間帯での、検査を希望する受検者の利便性に立った voluntary counseling and testing (VCT)としての検査サービスが提供できる他、性感染症(sexually transmitted infection: STI)の合併を含む感染リスクのある個人に対し、医療者が検査を勧めることができ（提供者主導の検査と相談もしくは provider-initiated HIV testing and counseling: PITC）、感染判明時に迅速な介入や医療連携が可能であることなどの多角的な利点を有すると考えられる。そこで、本分担研究では、下記を目的に研究を行った。

- ① 全国の研究協力施設 45 施設を対象に、民間クリニックにおける HIV および STI 検査の実施状況と課題を明らかにすること
- ②モデルとなる協力施設と研究班のネットワークの構築
- ③民間クリニックにおける HIV 検査相談の質の担保

B.研究方法

既存の HIV 検査研究班で 2014 年までに確立された 41 箇所の HIV 即日検査を実施する民間クリニックと、HIV 研究班とのネットワークは、2015 年 3 月に旧 HIV 検査研究班の終了に伴い喪失したものの、検査研究班ウェブサイト(HIV 検査・相談マップ <https://www.hivkensa.com>)には引き続き掲載されていた。一方、2016 年から 2019 年の間に、新たに 18 箇所の施設から掲載希望の申し出があった。2020 年度に掲載のための施設基準を作成し、施設基準への遵守の意思確認のための誓約書を依頼した。その結果、31 施設より回収できた。そして新規掲載希望された 18 施設中 14 施設から回収した。合計 45 施設が協力施設として登録された。自費診療のみの施設と自費及び保険診療を行う施設の両方が含まれる。

この 45 施設に対し、2020 年 1 月 4 日に実施状況に関するアンケート調査票を送付し（資料 1）、2020 年 1 月 29 日を締切日として回収し、解析を行った。HIV 検査実施状況を中心に陽性時の対応、HIV/STI 検査費用等についての質問内容とした。

(倫理面への配慮)

特になし

C.研究結果（資料 2）

45 施設中 39 施設から回答を得た（回収率 87%）。

1. HIV 確認検査で陽性となった場合、管轄保健所への発生動向調査への届出を行っているか？

回答のあった 39 施設中、27 施設で届出を行い、6 施設は行っておらず、その 6 施設は場合によると回答した。届出を行っていない理由として、治療目的に拠点病院に紹介していることが主な理由であった他、確認検査を実施せず紹介しているといった回答であった。紹介先の届出と二重にならないように相手側に連絡されるといった配慮をする施設があった。

2. HIV 確認検査の陽性者のフォロー

拠点病院へ紹介すると回答した施設が 31 施設と最多で(79%)、自施設でフォローする施設が 1 施設、状態によっては自施設でフォローアップをする施設が 4 施設あり、5 施設(13%)が自施設でのフォローが可能であった。

3. HIV 検査実施件数、届出状況、陽性者のフォロー状況

2020 年 1 月から 12 月の間に、26,284 件の検査が実施された（資料 3）。検査数は施設によって 1 件から 8,000 件と幅があり、1 施設あたりの実施件数の中央値は 100 件であった。HIV 確認検査の陽性者数は 70 件(0.27%)、届出数は 50 件であった。紹介先に受診できたことを把握できた数の 56 件、自施設でのフォロー症例数 32 件を合わせると、88 件であり、陽性者数全体のうち、ケアに

つながったことを確認できたのは 55%であった。
3 件が、確認検査の陽性結果を聞きに来なかった。

4. HIV 迅速検査を実施している場合の検査試薬

ダイナスクリーン・HIV Combo (アボット ダイアグノスティックス メディカル社) が 34 件と最多で(87%)、エスプライン HIV Ag/Ab (富士レビオ社) が 5 件(13%)であった。

5. HIV/STI 検査項目と費用

検査手法によって値段が異なる場合、高い価格を採用し集計した。自費検査としての HIV 抗原抗体検査の検査費用は、中央値 5,000 円

(2,900-10,000 円)であった。確認検査の費用は、前述の通り必ずしも実施していない施設が存在し、回答数は 16 施設で、中央値 5,500 円(0-18,150 円)であった。1 施設は保険点数 x10 円、3 施設は健康保険を適用していた。梅毒抗体の検査費用は、中央値 3,800 円(1,100-8,000 円)であった。20 歳代か 30 歳代以上かで検査費用に勾配を設け、若い世代にアピールを行う工夫をしている施設が 1 施設みられた。23 施設で、複数の HIV/STI 検査項目を含む、セット料金が設けられ、受検者のニーズに合わせ、多岐に渡る組み合わせがみられた。プライダルセット、sex worker のみを対象としたセットといった、特定のグループをターゲットにしたセットもみられた。費用は、カップリングされる他の STI 検査の数や種類により、5,000 円から 60,000 円と幅がみられた。

6. HIV 迅速検査を実施する場合

患者希望時が 37 件と最多である他(VCT)、STI を診断したときと回答した施設は 11 件であった(PITC) (複数回答あり)。具体例では、風俗店での定期検査、AV 撮影前検診、医師の判断、HIV 暴露前及び暴露後予防内服実施時、臨床所見・問診・検査所見から疑う場合などが含まれた。

D. 考察

研究班協力施設 45 施設中、39 施設より回答を得た。2020 年にのべ 26,284 件の検査が行われ、70 件が確認検査により HIV 感染が証明され、陽性率は 0.27%であった。検査数は 2001 年本調査開始以降最多であり、陽性率は最も低かった。ただし、2019 年のわが国における年間 HIV/AIDS 報告数は 1,236 件であり、保健所への届出数 50 件のみに注目すれば、少なくともわが国における新規 HIV/AIDS 報告数の 4%が民間クリニックで診断され報告されている。自施設でフォローされている症例 32 件、確認検査結果を聞きに来なかった 3 件を除いて、紹介医療機関へ紹介されたことを考慮すれば、民間クリニックがわが国における HIV 感染症の case finding に大きな貢献をしていることは明白である。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、保健所等での HIV 検査数の減少がみられているにも関わらず、民間クリニックにおける検査数は検査へのニーズは保たれていた。

民間クリニックにおける同様の調査解析がなされたのは 2014 年以来であり、当時の 41 協力施設中、34 施設からの回答では 25,396 件の HIV 検査が実施され、陽性者数は 87 件(0.34%)であった。同年までの集計では、HIV 検査は迅速検査に限定していたが、同様に比較すると下記が考察される。

- ① 施設数が増加したこと(回答施設 34→39 施設)を加味すべきだが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、保健所等での HIV 検査数の減少がみられているにも関わらず、民間クリニックにおける検査数は減少せず、検査へのニーズにぶれはみられない。

- ② 少なく見積もっても同年の全国の新規報告数の 4%を占め、研究班協力施設の民間クリニックは、感染リスクの高い集団に、正しくフォーカスし検査が提供できている。

大多数の施設では VCT が主であり、保険適応を考慮すれば、大部分の HIV/STI 検査が自費であることは止むを得ないが、STI の合併など臨床

所見・問診・検査所見から検査を勧める PITC も同時に実施されていることが、民間クリニックにおいて陽性者数を効率良く検出できている理由の一つであろう。多彩なセット検査に代表されるように、特定の集団に向けたフットワークの軽い検査を計画し実施できている点を含め、民間クリニックは、わが国における HIV 検査実施機関として重要なインフラを担っていると考えられた。

また、sex worker を主な対象としている 1 施設では年間 8,000 件もの HIV 検査が施行されたにも関わらず、陽性者は 1 件であり、わが国の sex worker における HIV 感染率の低さが示唆される。

課題を下記に挙げる。

- ① 確認検査は本来自費ではなく、HIV 感染症疑いの病名の下、保険診療での実施が望ましい。ただし、自費診療のみの施設が含まれており、止むを得ない部分がある。
- ② 民間クリニックにおいて、確認検査陽性者で、拠点病院に紹介した後、紹介先に受診できたことを確認できたのは約半数であった。民間クリニックにおいて、紹介状が発行されたかは不明である。紹介先の医療機関で、受診報告書を発送していない可能性も否定できず、双方への改善のアプローチが必要である。
- ③ 確認検査を聞きに来なかった例が 3 件みられたこと。ただし、全体からみればわずかであり、保健所等における HIV 検査相談等でも一定数存在することを考慮すれば、各民間クリニックにおいて紹介先でのケアにつなげるための努力がなされていることが示唆される。

次年度からは、自費診療のみの施設と、自費及び保険診療を行う施設数の区別、自費検査と健康保険を使った検査の区別、保険診療を行う施設において PITC が健康保険で行われている割合、拠点病院等における確実なケアにつなげるための試み（紹介状の発行、拠点病院とのリエゾンの有無）から優先順序をつけながら調査項目に加えさらに解析を進め、現状と課題をより詳細に調査し、

それに対する支援を計画したい。

E.結論

研究班協力施設である民間クリニックにおける HIV 検査実施状況を、2014 年以來初めて実施した。2020 年にのべ 26,284 件の検査が行われ、70 件が確認検査により HIV 感染が証明され、陽性率は 0.27%であった。民間クリニックは、わが国における HIV 検査実施機関として重要なインフラを担っている。課題がいくつか判明したため、次年度の調査に反映し、改善につなげるために各協力施設への支援を立案する予定である。

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

なし

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

(資料 1 調査票依頼書及び調査票)

The Study Group on the Development of HIV Testing Systems

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」班

(研究代表者 今村 顕史 (東京都立駒込病院感染症科))

研究分担者 井戸田 一朗 (しらかば診療所)
研究協力者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 今井 光信 (田園調布学園大学)

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋 1-3-1 Tel. 0467-83-4400 Fax. 0467-83-4457

E-mail kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

令和 3 年 1 月 4 日

「HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」班
即日検査実施クリニック協力研究者の先生方

HIV 検査に関するアンケート

先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、本研究班事業では大変お世話になっております。

さて現在、研究班の協力研究班員として HIV 検査を実施していただいておりますが、HIV 確認検査で陽性となった方についての保健所への発生動向調査の届けおよび医療機関への紹介状況等について確認させていただきたく、別添のアンケートへのご協力を宜しくお願い申し上げます。

大変お忙しいところ申し訳ありませんが、令和 3 年 1 月 29 日 (金) までにメール、FAX または郵送で下記宛にご回答くださいますようお願い申し上げます。

しらかば診療所
井戸田 一朗

調査票送付先

メール、FAX、郵送のいずれかで 1 月 29 日 (金) までに
下記宛にお送りください。

神奈川県衛生研究所 微生物部 佐野 貴子 宛

〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋 1-3-1

電話番号：0467-83-4400

FAX 番号：0467-83-4457

メールアドレス：kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

送信先：FAX 0467-83-4457

HIV 検査体制研究班

神奈川県衛生研究所 事務局 佐野宛

(HIV 検査に関するアンケート 1 ページ)

令和3年1月29日(金)まで
にご提出をお願いします。

HIV 検査に関するアンケート

クリニック名： _____

院長名： _____

TEL： _____

FAX： _____

E-mail： _____

1. 貴院では HIV 確認検査で陽性となった場合、管轄保健所への発生動向調査への届出を行っていますか？

- ① はい (届出保健所名： _____)
② いいえ (理由： _____)
③ 場合による (理由： _____)

2. 貴院では HIV 確認検査の陽性者のフォローをどのようにしていますか？

- ① 拠点病院へ紹介 (紹介医療機関先： _____)
② 自施設でフォロー (陽性者の受診日の間隔： _____ ヶ月おき)
③ 状態が良い場合は自施設でフォロー、症状が悪化した場合は拠点病院へ紹介
(陽性者の受診日の間隔： _____ ヶ月おき / 紹介医療機関先： _____)
④ その他 (_____)

3. 2020 年 1-12 月の HIV 検査実施数、HIV 陽性者の発生動向調査届出、陽性者のフォロー状況を教えて下さい。

HIV 検査実施数	_____ 件
HIV 確認検査陽性者	_____ 件
確認検査の陽性結果を聞きに来なかった数	_____ 件
保健所への発生動向調査届出数	_____ 件
紹介医療機関に受診できたことを把握できた数	_____ 件
自施設でのフォロー数	_____ 件

4. HIV 迅速検査試薬をご使用の場合、使用している HIV 検査試薬名を教えてください。

- ① ダイナスクリーン・HIV Combo (アボット ダイアグノスティックス メディカル社)
② エスプライン HIV Ag/Ab (富士レビオ社)

5. 実施している HIV/STI 検査項目と費用(自費診療・診察代等含む)を教えてください。

HIV 抗体 (_____ 円) クラミジア抗原 (_____ 円)

HIV検査実施クリニック HIV検査に関するアンケート(2020年度)			
2021年1月4日アンケート発送			
アンケート発送数: 45箇所		回収数: 39箇所(87%)	
1. 貴院ではHIV確認検査で陽性となった場合、管轄保健所への発生動向調査への届出を行っていますか？			
① はい	27件		
② いいえ	6件		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・治療目的で大学病院へ紹介しているため ・CD4値測定が必要な場合 ・他の医療機関に紹介したため ・要確認検査の時点で拠点病院へ紹介しているから ・拠点病院へすぐに紹介するため、拠点病院から報告している ・紹介先の拠点病院で届出をしていただいているため 		
③ 場合による	6件		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど紹介先の市大or市民HPより届出をして頂いている ・迅速検査陽性で専門病院へ紹介しているため ・今迄確認検査で陽性症例の経験がないため ・紹介先の届出と二重にならないように相手側に連絡している ・確定診断を拠点病院に依頼する為 ・まだいらっしゃいません ・まだ陽性となった方はいませんが出たら届出を行う 		
2. 貴院ではHIV確認検査の陽性者のフォローをどのようにしていますか？			
① 拠点病院へ紹介	31件		
② 自施設でフォロー	1件		
(陽性者の受診日の間隔)	無回答		
③ 状態が良い場合は自施設でフォロー、症状が悪化した場合は拠点病院へ紹介	4件		
(陽性者の受診日の間隔)	1~3ヶ月	2件	
	2ヶ月	2件	
④ その他	5件		
	<ul style="list-style-type: none"> ・併診 ・場合によっては本人希望の病院の時もある ・ねぎし内科診療所、しらかば診療所へ紹介 ・まだいらっしゃいません 		

3. 2020年1-12月のHIV検査実施数、HIV陽性者の発生動向調査届出、陽性者のフォロー状況を教えてください。

HIV検査実施数	26,284件
HIV確認検査陽性者	70件
確認検査の陽性結果を聞きに来なかった数	3件
保健所への発生動向調査届出数	50件
紹介医療機関に受診できたことを把握できた数	56件
自施設でのフォロー数	32件

6. HIV迅速検査を実施する場合は、下記のうち、どのような場合でしょうか？（複数回答可）

① 患者さんが希望したとき	37件
② 性感染症を診断したとき （下記より、疾患名にチェックください。複数回答可）	11件
クラミジア感染症	2件
梅毒	11件
性器ヘルペス	6件
淋菌感染症	2件
B型肝炎	5件
尖圭コンジローマ	5件
③ その他	10件
（→具体例をお教えてください。）	
<ul style="list-style-type: none"> ・②については患者さんに検査を受けるようにお話しします。 ・風俗店の定期検診、AV撮影前検診 ・特に性の行動様式で疑われる場合による ・尿道炎繰り返す方 ・医師による相談により勧めることも有 ・診察内容や他の検査結果から、リスクが高いと判断し、検査を推奨して患者が承諾したとき。 ・PEP, PrEP処方時 ・症例や採血結果から疑うとき ・性感染症や日和見感染症などが治癒しない、繰り返すとき ・HIVPrEP・PEP希望時 	

(資料 3 HIV 検査数と確認検査陽性数の年次推移 (2001-2020 年))

